

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成18年12月12日
第719号

〒952-1209 佐渡市千種155
：0259(63)4156(☎) 4115(代) Fax：4117
<http://www.sado.co.jp/kanaisyo/> E-mail：kanal es@sado.ed.jp



今年も残すところ1か月をきりました。平成18年の締めくくりです。それぞれのご家庭での、今年の十大ニュースは何でしょう？子どもたち一人一人にとっての十大ニュースを考えるのも楽しいものです。1年間を漢字で表したり、いろいろなやり方で今年を振り返ってみてはいかがでしょうか。

ペアレントトレーニングって？

佐渡総合病院小児科
岡崎 実

佐渡で初めてのペアレントトレーニングが、今年の7月から10月まで4回シリーズで行われました。県立吉田病院子どもの心診療部の新田初美先生によるご指導の下で、実際に体験しながらご家族も私たちスタッフも多くのことを学ぶことができました。

子育ての歴史の中で、たまたま育てにくい特性をもった子どもたちを育てる家族のご苦労があり、その日々の真剣な取組の中から生み出されたさまざまな工夫は、軽度発達障害の子どもたちはもちろん、一般の子育てや、学校の学級運営でも応用できる普遍的テクニックとして磨かれてきました。それがペアレントトレーニングの内容です。

子どもたち一人一人個性が異なりますし、テクニックを身に付けるには少々練習が必要です。でも、確実に役に立つ親の知恵です。子どもとちょっと煮詰まった関係になっているとき、少しでも楽になれる一つの提案として広く伝えていきたいと思います。



自己肯定感を高める

何らかの問題行動を起こす子どもの中には「自己肯定感（『自分はかけがえのない存在なんだ』という感覚）」が低下している子どもが多くいるそうです。これらの子どもを「やる気がない」「わがままだ」ととらえ、「さあ、他の子どもたちができることを、あなたもやりなさい。」と働き掛けても効果は上がりません。自己肯定感がさらに低下し、逆効果になります。

自己肯定感の大切さは「三つ子の魂百まで」という言葉にも表されています。この言葉の意味は「3歳まで安心できる環境で育てあげれば、大人になっても健全な心で生きていける。」なのだそうです。安心できる環境で育つことで自己肯定感は育まれます。しつけや勉強は、ここで育まれた自己肯定感を土台にして、ようやく成り立ちます。つまり自己肯定感を抜きにして、しつけや勉強は成り立たないということです。

まずは他の子どもと比べることをやめ、その子にあった安心できる環境を考えることが、その子の自己肯定感を高める一歩になるのではないのでしょうか。（中村）



親の会コーナー



会員の声 No.21

一緒に歩こうね

甲斐 奈緒美

子どもがことばの教室に通うようになって三年目になりました。小学校に入学してから上手に発音できないことを気にし始め、私もことばの教室に通っていたこともあったので、子どもの切ない気持ちがよく分かりました。

しばらくして、「ことばの教室へ行くとよくなるから、今度はいつ行くの？」と言うようになりました。それから毎日、音読やお風呂に入りながらの発音練習をやりました。

今年の春に「まだ時間がかかります。」と言われた子どもが、夏になる頃には、先生がびっくりするぐらいによくなりました。もう少し、あと一歩のところですが、焦らずのんびり子どもと歩いて、毎日を楽しんでいこうと思います。



お知らせ



親子お楽しみ会がありました

12月10日(日)の親子お楽しみ会では、「鼓童」の研修生を講師に、太鼓教室を行いました。ボランティア、職員も合わせて、総勢82名が金井小学校の視聴覚室に集まりました。年齢や個性の多様な子どもたちに対し、分かりやすく、そして楽しく、太鼓の指導をしてくださった「鼓童」の皆さん、どうもありがとうございました。また、ボランティアの皆さん、野菜の寄付をしてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

参加した方の感想を、写真も交えて次号で紹介します。どうぞ、お楽しみに。

3学期の行事予定

3学期には、次の行事等を行う予定です。

- 第2回運営委員会(1月下旬)
- 第2回判定委員会(2月下旬)
- 学習会(2月)
- 修了式・修了を祝う会(3月)

日程が決まりましたらお知らせします。

